

# 令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立江戸川小学校

## ■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	前時の振り返りや学習したことをもとに解決の見通しや自分の考えをもたせ、対話を通して学び合い思考力・判断力・表現力を育てる問題解決型の授業づくりを行う。
環境作り		校内で共通した授業内掲示物を使い、言語や規則を守る環境を整え、タブレット端末を中心としたICT機器を活用することで授業の流れを視覚的に分かりやすく提示したり、児童が実物を映像で確認したりしながら学べるようにする。

## ■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境を整えることや、学習を進める上でのきまりを身に付けさせる。</li> <li>・1単位時間の学習の流れをつかませたり、単元の見通しをもたせたりして、円滑に学習活動に取り組めるようにする。</li> <li>・個別対応を図り、学習内容の定着に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習用具を使う場面や使い方、話の聞き方などの視覚的な提示</li> <li>②「めあて」「かつどう」「たしかめ」「ふりかえり」の学習の流れの定着化</li> <li>③既習事項の確認を随時行うなど、日常の中での意図的な活用場面の設定</li> </ul>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律を整え、発表の仕方や話の聞き方を身に付けさせる。</li> <li>・自分の考えや思いを友達に伝える力を身に付けさせる。</li> <li>・文章を落ち着いて読み、問われている内容を理解する力を身に付けさせる。</li> <li>・計算の答えや自分で書いた文章などを見直す力を身に付けさせる。</li> <li>・計算力、書字力、語彙力を高められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①よい「話し方」「聞き方」を掲示し、日常的に相手意識をもたせる指導</li> <li>②文章を言葉のまとまりで読めるような音読の継続指導</li> <li>③たし算やひき算の筆算や漢字の練習など、授業の隙間時間や家庭学習を活用した反復学習</li> <li>④古典暗唱や言葉集めなど、言葉に親しむ環境づくり</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果では、国語、算数ともに区平均を上回っている。</li> <li>・国語、算数ともに基礎よりも応用問題の正答率が低くなっているが、それでも区平均および全国平均は上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えたことが伝わるように組み立てを意識して文章に表せるようにする。</li> <li>・既習の漢字や新出漢字を日常的に使用できるようにする。</li> <li>・繰り返し上がりのあるたし算と繰り返し下がりのある引き算を正確に解けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「はじめ・中・終わり」の文章構成が意識できるような書く指導</li> <li>②授業時間内の新出漢字の指導時間の確保</li> <li>③宿題や朝学習の時間を活用した計算問題の反復学習</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果では、基礎について国語のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文を正しく読み取れるようにする。また、筆者の意図や伝えたいこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①説明文の読み取り方の指導</li> <li>②新出漢字を各教科で使える</li> </ul>

<p>学年</p>	<p>区平均を上回っており、算数は下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、算数ともに基礎よりも応用問題の正答率が低く、どちらも区平均を下回っている。</li> </ul>	<p>と、考えを捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字や新出漢字を日常的に使用できるようにする。</li> <li>・既習の計算を正確に解けるよう、ケアレスミスをなくすため、計算の過程を丁寧に書く指導をする。</li> </ul>	<p>よう、指導</p> <p>③問題や計算の過程をノートに丁寧に書く指導</p>
<p>5学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果では、国語、算数ともに区平均、全国平均を上回っている。</li> <li>・一方で、平均を超えていないC、D層の児童が国語、算数ともに3割から4割おり、基礎的・基本的な学習について定着させる必要がある。</li> <li>・また国語において、基礎に比べて応用に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に辞書を引く活動などを通して、語彙力を高めていく。</li> <li>・小テストや補充プリントを家庭学習で行い、基礎基本の学力を伸ばすための学習習慣を身に付けさせる。</li> <li>・問われている内容をしっかりと理解し、思考する力を身に付けさせる必要がある。</li> <li>・少人数コース編成を工夫し、既習事項を振り返りながら授業を進める必要がある。</li> </ul>	<p>①ICT 活用等による課題提示の視覚化による問題内容の理解促進</p> <p>②各授業時間に自身で思考する時間、グループで対話する時間を確保し、文章や発言で表現することの意識付けおよび習慣化</p> <p>③ICT 機器の効果的活用によるグラフの読み取り学習の継続的指導</p>
<p>6学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果では、国語・算数共に区平均・全国平均を上回っている。</li> <li>・前年度に比べ、正答率も上がり、半分以上が上位層に入っている。</li> <li>・国語の「書くこと」の領域は、より習熟を重ねていく。</li> <li>・算数の「知識・技能」の「数と計算」を十分に習熟させる必要がある。また、算数においては、定着度において二極化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、算数ともに思考する力は十分に育ってきているが、それらを表出せず個人の中で解決することが多いため、対話が深められるような工夫が必要である。</li> <li>・文の組み立てや書き取り学習を全員に定着させる必要がある。</li> <li>・算数の学習における定着度の二極化を改善するために、習熟度別指導を、単元に応じて活用する。</li> </ul>	<p>①短文づくりや感想文、意見文などの指導</p> <p>②ペアやグループでの対話が深まるような場の設定</p> <p>②デジタルドリル等を活用した漢字や計算の反復練習の習慣化</p> <p>③習熟度別を活用した学習内容の精査や進度の確認</p>
<p>特別支援</p>			